

街かど

街かどは、みなさんのページです。作品（絵画、写真、短歌、俳句、川柳、詩など）やご意見、コメントを募集しています。原則として必ず掲載します。また「われら仲間」や「私とスポーツ」にもぜひ投稿してください。匿名希望者は匿名としますが、編集部には氏名をお知らせください。投稿先 黒塚町大野一八四三の一黒塚町大野郵便局宛

運動会でのちよつとしたできごと

MY (主婦 鳥原大明)

「いつてきま〜す」はりきって出かけたわが家の一年生。今日は一生懸命練習してきた運動会。家事も仕事もそこそこの弁当持参で見物に駆けつけた。ゴール近くに陣取る。みんな同じ体育着ゆえにどれがわが子かわからない。走って来る子供たちの顔を見比べていると、来た来た。ニコニコしながらなんとピリ。そういえば、夕べ「ピリでもいいから一生懸命がんばれよ」と言う「ボクなんかさあ、一生懸命走るだけだけれど、他の子が早いんだもん」という答が返ってきたんだっけ。よい、よいがんばったもんね。

とまあしているうちにお昼。主人もちよつとやって来て、木陰へ。下の娘と三人、石段に腰掛けて近所の人たちと話をしながら食べるお昼のなんとおいしこと。お父さん、また、弁当持って今度は海へ行こうよ。そうするか。なんていう話。ハンカチを取りに石段を降りようとしたら、背あてにと折り曲げてあったごの端にひっつかかっつて、おつとつと。アラアラとつまずきみに降りて靴をはこうとしたとたんでした。「ドス、ドスと人がせつかく持つて来て敷いたごに上つて、平気で歩いて、もう少し〇〇〇(聞き取れず)かしら」一瞬、ポカンとした私の前に小さな座ぶとんが二枚、ポンと投げられ

ました。あつ私のことかと思つた瞬間、回りの人の視線をいっせいに感じ、きまりが悪い。それでも口に出た言葉「どうもすみません」。あまり激しい口調でとがめられたもので、とつさにすみませんとは言つたものの、冷静になつて考えてみれば、石段に上る時も「すみません。ちよつと通してください」の一言も言わなかつたみたい。悪かつたかな。でも、転ばぬように気を使つて降りた瞬間のでき事で、ごや座ぶとんの上をドスドス上つて歩いたなんて、気がつかなかつたのよ。それでも不作法に変わりはないでしょうから反省しよう。でも、後でちよつと思いまし

短歌

短歌会

吾子逝きて十八年の命日に庭の牡丹を手向けて偲ぶ
金内セツ
会二つ重なりし日の出席はどちらにせんかと心苦しき
宮田ミイ
石仏を立てし辺りの青若葉つじ山吹き咲きて陽に映う
柏 真樹地
機械植の時代となりて賑かに早苗ふりしたる事も廃れぬ
平松 清治郎
おりおり若葉ぬける風のあり友が帰りにてお座しおれば
石川 恵美子
看護婦の「男の子ですよ」のこの声を幾日待ちしか晴ればれと聞く
泉井ヨ子
ちさきより見なれしたも木の切られゆく田園風景消ゆるが寂し
阿部 浄子
戦時中主食にしたるさつまいも作ると今年も子らと植えたり
小出 美喜子
逝く先は地獄の果てか天国か天よし地もよし風に吹かるる
酒井 庄平

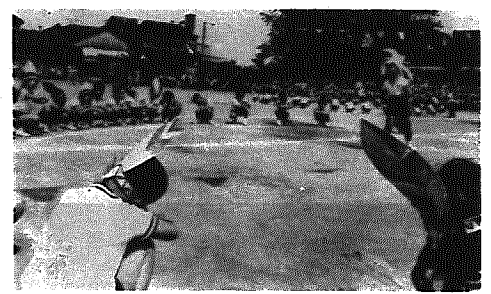
早朝の歌

岡田 幸平

私は暖かくなると毎朝きまつて散歩します。気の向くまま、足の向くまま堤防を歩いたり、田んぼ道をぶらぶらついたり、四、五十分歩き廻ります。これらの歌はその時に思いつくまま口ずさんできたものであります。
新幹線高速道路とわが里の地図も景色も大きく変わり
唐国の万里の長城思はせつ新幹線は遠くかすめり
此道を汽車の走るはいつの日かわれその日まで生きたと思ふ

た。通り抜けの近くの場所に、まして青空の下。あなただけの場所を大事にされるのも結構ですが、座ぶとんやゴザをもうちよつとすみんやつてもらえればおおらかな気持ちで通る人に「どうぞ」て言つてもらえたら、いくら不作法者の私でも「あつどうもありがとうございます」くらいは言えたかも知れません。私の不作法は、人前で恥ずかしい思いをしたことですみませんが、あなたの言葉一つでそれまで楽しく見ていた人たちがいっせいに気まずそうな雰囲気になつてしまいました。

「あんな席行きたくなくなつちやつた」という小さな声。ごめんさい。私の行動一つでみんなに嫌な思いをさせてしまいました。当然、わが家も初めの子の運動会にいやな思いを出一つ残してしまいました。これからは、気をつけなくちゃ。でも、息子のピリはいいや。今年もピリでも来年はガンバレ今度は五位、その次四位。そうすりや六年生には一等賞が取れるじゃないの。ニコニコ顔のトリードマークを忘れなかつたし、いっせいに走つたもんね。母さんが一等賞をあげようか。



楽しい運動会 (大野小)

わたしのZAKURA



二階の窓から建設中の大きな屋根が見えていました。何ができるのかなと思つていました。そしたら体育館。家族みんなで見学に行き、すばらしい

ママさんバレーのよろこび

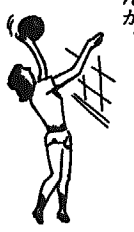
松田 由美子 (興野)

設備にびっくりしました。それ以来、家が近いため暇ができる、子供たちを連れて体育館に行くようになりました。ランニングコースを走つたり、卓球をしたり、週一回のママさんバレーに参加したりして楽しく利用しています。私とバレーボールの結びつきについて、少し述べさせていただきます。私がママさんバレー

に入会する前、体育館に行きますと、いつもコートではバレーボールやバドミントンなど様々な競技が繰り広げられておりました。それを見てはいつも私もやりたいなあーと心の中で思つていました。しかし、入会方法がわからず、にた遠くから眺めているだけ。そんなある日、興野二区の間本さんから、ママさんバレーをや

ついでにあなたもいっしょにやってみないか、と声を掛けていただき、それが縁でみなさんのお仲間入りもさせてもらいました。以来今日まで、楽しく続けております。今では、週一回の練習がとて待ち遠しく、多くのみなさんとも知り合う機会ができて、スポーツをとおして色々な勉強をさせてもらつております。汗を流した後の充実感とはとてすばらしく、体全体が軽くなった気分です。自分自身の趣味健康管理、そして若さを保つた

めに体をきたえて、いつまでも若々しくありたいと思つています。主婦は、仕事に、家事に、育児にと忙しい毎日だと思つて、自分の中で家族の協力を得て、汗を流すことは何事にもまさる気分転換になります。みなさまもできるだけスポーツをやつて、人生をエンジョイしてみませんか。



俳句

岩見正子

佐藤キン

瓦屋根白壁の家自家用車農家の様も大きく変われり
減反に荒れたる田圃いたまじや農の行末いかななるらん
農業は国の基と言はれたるその昔の言葉今いずこに
米出せと強制執行まで行はれし三十余年の昔偲はる
見る限り昔の姿なき里に弥彦角田の山のなつかし
気安さに苺畑を通り来し
クリスタル皿に苺と銀の匙
くもの糸流れるままに風光る